



台湾弘文高級中学訪問団 歓迎

Treasure Every Encounter ～出会いを大切に～

5月20日（火）、台湾弘文高級中学より生徒31名、引率教員2名が来校されました。2限目に到着後、さっそく3限目は2つのグループに分かれて中学校の美術、音楽の授業にそれぞれ参加していただきました。また、4限目には3年生の教養英語の授業を体験していただき、英語を使って一緒に活動することができました。授業教室へはそれぞれ2年生、3年生の国際交流委員が案内してくれました。

昼休憩時は3年生国際交流委員が訪問団の皆さんと一緒に和やかな雰囲気の中で昼食を楽しみました。

午後は課外活動棟2階で歓迎会が開催されました。訪問団代表の先生や生徒から挨拶していただき、記念品の交換などを行いました。また、箏曲部が演奏を披露し、訪問団からは「涙そうそう」の歌を披露していただきました。

短い時間でしたが、授業や歓迎会などで生徒たちは共に楽しい時間を過ごすことができたようです。

お互いを思いやり、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を大切に、今回の経験を国際交流の様々な場面に活かしていきましょう。

訪問団との交流を通して学んだこと

～国際交流委員 振り返りシートより～

初めての国際交流委員としての活動で緊張したけれど、訪問団の皆さんを迎えることができて嬉しかったです。この委員会に入っていなければ、経験できませんでした。歓迎会では箏曲部が演奏し、また訪問団代表の先生と生徒が歌を披露してくださり、異文化交流できて良かったと思います。



訪問団の皆さんから中国語を教えてもらったり、こちらは日本語を教えるなどしたことが楽しかったです。校内を案内する場所や英語での説明の仕方を工夫しました。スムーズに会話することは難しかったけれど、もっと話したいと思いました。

英語で伝えるのは難しいと感じましたが、ジェスチャーも交えて伝えることができました。普段からコミュニケーション能力を向上させていきたいです。今回の経験を通して、さらに海外に興味をもつことができました。



訪問団の皆さんと直接交流できたことで、言葉や文化が違ってもしっかりとした気持ちをもって笑顔で接すれば心が通じることを実感しました。自分の英語が通じて相手がかみかみしてくる時は、とても嬉しくなりました。また、台湾での学校生活や文化について話を聞くことができ、自分の視野が広がったと感じています。相手の話に興味をもって聞くことの大切さや、共通の話題を見つけて会話を続ける方法などを学ぶことができました。今後も様々な国の人たちと交流していきたいです。